

まちかど★ ネットワーク

お便りください

このコーナーは、皆さんの意見や地域の問題をお届けしています。
広報広聴課 ☎51-0123 内線2822へお便りください。

市長への 手紙から

浮島ヶ原に自然を 生かした公園を

時々、仲間と一緒に浮島ヶ原へ絵を描きに出かけている山本さんから、浮島に残っている自然を生かした公園をつくってほしいと、お便りをいただきました。

へ市長への手紙から

富士市には、多くの人を呼べるような、娯楽、文化、教育など、あらゆるものを総合した場所がないので、とても残念に思います。そこで、浮島ヶ原の広大な場所を湿生花園にしたらどうでしょうか。富士山周辺の草花、湿地の草花などを集め、浮島に残っている自然を保護しながら、多くの人が絵画や写真などの趣味を楽しみ、余暇を過ごす憩いの場所。ぜひ実現させてください。



山本房江さん(松岡)

へ市長の答え

浮島ヶ原の自然を活用して、湿生花園をつくってほしいとのことですが、市としては、浮島ヶ原固有の植生の保護と自然風景の保全、そして市民の身近な自然観察の場を提供することを目的として、中里字鬼ヶ島地先(国道一号バイパス北側付近)において、自然公園の用地取得を進めています。

本年度は、用地取得とあわせ、植生や水環境の基礎調査を実施しています。浮島ヶ原に自然を生かした公園をつくる場合、湿原としての水環境の維持管理、湿原植物や野鳥、昆虫などの保全のあり方が重要になります。公園の整備時または開園後、生物に与えるさまざまな条件の変化などを把握し、適切に対応しなくてはなりません。今後は、自然公園の整備のあり方について十分な検討を加え、基本構想を作成していきたいと考えています。

今が！ 見る！ 食べる！

歩く健康づくり一万歩①

鷹岡「かみ(神・紙)の里」コース

空がとても高く、心地よい風がほほをなでる十月。秋の彩りを見せる街を、ちよつと気軽に歩いてみませんか。

富士市には、「歩く健康づくり一万歩」と称したウォーキングコースが、全部で十二コースあります。今回は、その中の一つ、鷹岡「かみ(神・紙)の里」コース(健脚・一般)のうちの一般コースを歩いてみました。

まずは、鷹岡公民館を出発。天王社と熊野神社へ寄った後、金刀比羅神社へ行くこうと思つたら、何とその日は道路工事中。断念して鷹岡の本町通りを歩くことに・・・商店の店先に並ぶ果物や野菜に「実りの秋」を感じました。



それから本町通りを右に曲がって龍巖の東側を通り、春になると見事な桜のトンネルが訪れる人を魅了する桜並木へ。赤ちゃんを連れた女性と散歩のおばあちゃんが気軽に言葉を交わす、のどかな光景が、そこにはありました。

水神社から富士鷹岡線へ出て、一気に北上。曾我寺、曾我八幡宮、五郎の首洗い井戸と、曾我十郎・五郎兄弟のゆかりの場所を訪ねます。そして、いにしへの物語に思いをはせながら歩を進めていくと、終点の鷹岡公民館。一周約五キロメートル、約二時間の行程でした。秋の一日を過ごすのに、お勧めのウォーキングコースです。

